

らいいプラス

世界の有力大学の入学資格として認められる国際バカロレア(IB)の教育課程を導入する学校が出始めた。海外の大学への進学実績を増やして帰国子女や優秀な生徒を確保する狙いのほか、探究型の学習様式などが思考力、表現力の育成に役立つとの期待がある。国もモデル校を指定して普及を後押しする。

「仕事の速さが違う2人が組んで、皿洗いと掃除を効率良く終えるにはどうする」。外国人教員が声をかけると、生徒が3人1組で議論を始めた。やり取りは英語で、生徒が教員の問いにテンポ良く答えていく。

昨年12月、玉川学園(東京都町田市)IBクラスの7年生(中学1年)の社会の授業だ。皿洗いと掃除に要する時間の計算があり、導入部分はまるで数学。やがて話題は日本の製造業に及び、新興国が成長する中で効率的な形態を考える内容になっていった。

◎◎◎

IBの教育課程は語学や人文科学、実験科学、数学など6〜8の教科からなる。教科横断型や課題を自ら探す探究型の学習が特徴。題材を生活の中の場面から取り上げることも多く、日本の学校の「総合的な学習」を各教科で行う。

大学入学の国際的な資格

国際バカロレアは、非営利団体「国際バカロレア機構」(本部スイス)が定めた教育課程。同機構の認定校を修了し統一試験に合格すれば、国際的に認められる大学入学資格になる。

教育課程は3〜12歳が対象の「PYP」、11〜16歳が対象で中学レベルの「MYP」、16〜19歳が対象で高校生向けの2年間の課程

日本の中高は6校

「DP」の3つ。大学への入学資格が得られるのはDP修了者だ。

認定校は141カ国・地域で約3300校ある。日本は22校で、16校がインターナショナル校など。日本の中学・高校は、この2、3年で認定が相次ぎ、現在は6校。日本人は10年に495人がDP試験を受け、445人が合格した。

バカロレア 導入の動き

メッセージだ。ただ、3種類ある教育課程のうち大学入学資格となるDPは授業を英語などで行うのが基本。一方中学レベルのMYPは日本語でも問題ない。

2007年に導入した玉川学園の小原芳明学園長は「他国の人の考え方を理解できなければ、グローバルな活躍はできない。世界で教育課程が共通するIBを学ぶことで、英語力とともに『国際標準』の思考方法が身に付く」と話す。

同学園のIBクラスの生徒数は現在70人で、初の卒業生が出るのは13年春。学費も通常コースより年約50万円高いが、帰国子女だけでなく海外の大学進学に有利と期待する生徒が増えている。昨春入試は15人の募集人員に対し18人が受験。英語力が不足する生徒は補習などで支援する。

先行組は実績も出している。00年に日本の学校として初めてIBの認定を受け

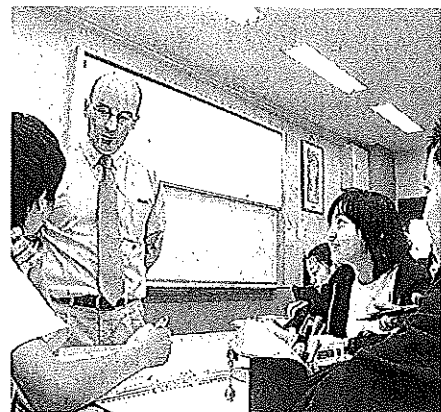
国も来年度からモデル校指定

た加藤学園晴秀中学・高校(静岡県沼津市)。卒業生は米ハーバード大など海外大135校に合格した。他校の視察も多いという。

教育内容そのものに着目する動きもある。東京学芸大付属国際中等教育学校(東京・練馬)は10年にMYPの認定を受けた。当初はDPを目指したが、英語での授業が難しく断念。それでも「コミュニケーションや多文化理解、実社会とのつながりを意識した学習は、国際社会で活躍する力の基礎になる」(担当の星野あゆみ教諭)と判断した。大学教育の国際化などを議論する国のグローバル人材育成推進会議も昨年6月、IB認定校かそれに準じた教育を行う高校を5年以内に200校程度に増やす目標を設定。文部科学省は12年度からモデル校を5つ指定し、実践に乗り出す。

◎◎◎

ただ、実際に認定を得るためのハードルは高い。学習指導要領の枠内で教育課程を編成する工夫や、数年に一度は教員が海外などで研修を受ける必要がある。IBを入学資格とする日本の大学は少なく、国内進学の



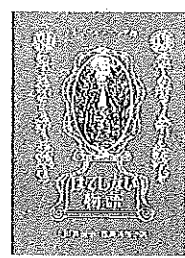
玉川学園のIBクラスでは各教科の授業を外国人教員らが英語で行う(昨年12月、東京都町田市)

こころの一本

青年期に人は自己に向き合い、長所と短所を自覚して、あるべき自己を模索する。このための精神力は、理と情が織りなす空想物語で培われる。この物語は古今東西、森羅万象の想像物が絡みあうファンタジー世界で、さえない自分を作り直していく少年の物語でもある。

空想の世界「ファンタジーエン」が虚無に侵食されて存亡の危機に陥る。少年はバタフライの力でこの世界の

「はてしない物語」



ミヤチワエル・エンデ作、上田 吉郎子 訳

空想世界の中で自己と向き合う

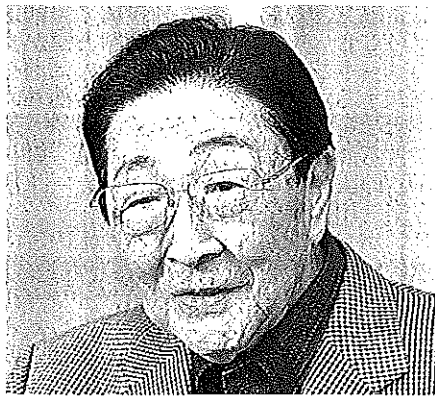
彼を待ち望む、大いなる探索を成し遂げた少年アトレユや幸いの竜や勇者たち。対して、復活を望まない魔女の策略と甘美な誘惑。バスチアン自身の慢心や、帰還の道を見いだすという試練も絡んで、縦横の筋と奇抜な登場人物たちが躍動する。卓抜した語り口で人生への洞察と教訓が満ちていて、再読するたびに新しい発見がある。

する生徒は従来型の人試に「対しにくい」。

IBに詳しい国立教育政策研究所の岩崎久美子総括研究官は問題意識を持ち、自ら考えて行動する人材を育てるIBの理念は学習指導要領の目標にも合つ。単なる留学支援策と考えず、教育課程の良い部分を積極的に取り入れるべきだ」と話している。

だなどれでしようか。指導する400名程度の先生が、指導する生徒の個性や能力を、どうにかして伸ばしてあげたいという思いが、この物語の心臓部です。

学びのふるさと



心理学者 多湖 輝さん

たご・あきら インドネシア・スマトラ島出身。心理学を応用したクイズ本「頭の体操」シリーズなどで知られる。教育活動にも熱心で、東京都の「心の東京革命推進協議会」会長などを務めた。東京未来大名誉学長。85歳。

少年期に接した徳川家の「侯爵様」

「君たちもマジックをやりのなさい」

理を読む面白さ発見

した。そこでもっとその心の動きを研究して、告会社と組んでマーケティングに助言したり、人間の不思議な現象をバラエティ、テレビ番組の制作に携わっている。こうして、心理学者の人生を送るついでに、いつの間にか有名が知られるようになっていきました。

元来、マジックのト

戦前、インドネシアで仕事をしていたことがある父が南方事業に関心を持っていて徳川義親侯爵に顧問として招かれ、2歳の時から従業員らが住む東京・目白のお屋敷の中で育ちました。この方は幕末の歴史で有名な松平春嶽公の次子で、尾張徳川家の第19代当主。私たちは「侯爵様」と呼んでいました。

お殿様らしく、何事にもおおらかな性格。私たち子供がいたらずらで徳川家に伝わる大切な庭の地蔵を壊した時も、ぼっせんとしながら「こんな所に置いたのも悪かったよね」とおっしゃっていました。おかげでいたず